

発行者：秦野市議会議員
やひろ伸二



議会だより

連絡先：
〒259-1392 秦野市堀山下1番地
Tel. 0463-88-2777 (後援会事務所)
ホームページ：http://www.shinjiyahiro.com

令和3年9月秦野市議会第3回定例会の報告！

令和3年9月秦野市議会第3回定例会が、9月7日～10月5日の会期で開催され、令和2年度決算など、市長提出議案13件、報告7件、陳情6件、議提議案1件、委員会提出議案4件、諮問1件などを審議し閉会しました。
主な内容は以下の通りです。



1. 令和2年度の決算を認定

令和2年度の一般会計及び3つの特別会計(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)と公営企業会計(上下水道)の決算を認定しました。

なお、主な会計の金額は、下表の通りです。

<令和2年度 主な歳入歳出決算額>

会計名		歳入	歳出
一般会計		702億9,689万円	643億1,921万円
特別会計	国民健康保険事業	147億3,077万円	162億4,634万円
	介護保険事業	106億6,762万円	124億5,131万円
	後期高齢者医療事業	20億5,214万円	23億2,440万円

決算内容は、新型コロナウイルス感染症の対策費用として、国・県からのコロナ補助金「新型コロナウイルス感染症対応 地方創生 臨時交付金」186億8,878万円が投入され、一般会計の総額は前年度比1.33倍と過去最高額となる異例の決算となりました。

市税の状況は令和元年度と比較し、市税全体としては3億1,122万円(3.0%)減となりました。その内訳は、個人市民税が4,426万円(0.5%)の微増となった一方で、法人市民税は企業業績の低迷により3億5,548万円(28.5%)減となり、財政運営はさらに厳しさを増しています。

令和2年度の市政運営については、新型コロナウイルス感染症との闘いで、国からのコロナ補助金の投入や事業の執行停止などもある中で、①市民の命を守るワクチン接種の準備が十分に行われたこと、②市内中小事業者に対し経済対策を実施したこと、③生活困窮者への支援策を模索しながらも実施したことを評価し、私は認定に賛成しました。

また、コロナ禍により事業の縮小などを行ったものを含め、今後はWithコロナを見据えた事業の在り方や、継続の可否も検討するよう要望しました。



<コロナ対策：顔晴ろう！市民応援はだのプレミアム商品券>

2. 「通年会期制」来年1月より導入

秦野市議会は、議会運営委員会並びに小委員会で検討が進められている「通年会期制」の導入に関わる委員会提出議案3件を提案し、賛成全員で可決しました。この議案の可決に伴い、来年1月より通年議会が実施されます。なお、政策立案を具体化するため、引き続き小委員会で協議を進めています。

さらに、議会の役割について市民に理解を深めて頂くため、分かり易い漫画による周知も私の提案で実施しています。ぜひご覧下さい。

第2号 通年会期制って何？
～議会の会期～



3. 文化会館とカルチャーパーク・

おおね公園が来年4月から指定管理へ

クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)と秦野市カルチャーパーク並びにおおね公園は、来年4月より5年間の契約で、下記構成団体による指定管理とする提案がなされ、賛成多数で可決しました。

私は、専門性とノウハウを持った民間企業が運営することにより、より効率的な運営や、施設の積極的な活用に繋がると考え賛成しました。

<「クアーズテック秦野カルチャーホール」構成員と役割>

共同企業体 構成員	本事業での役割
株式会社 タウンニュース	事業体事務局、施設の管理運営、自主事業の企画等業務
株式会社日動計画	施設設備保守監視、環境衛生測定、清掃、保守警備業務
株式会社 サウンドダック	舞台設備管理運営、自主事業の企画運営業務
株式会社関野建設	建物の点検、改修業務
タウンニュース・エンターテイメント株式会社	自主事業の企画運営、レストラン運営業務

<「秦野市カルチャーパーク・おおね公園」構成員と役割>

共同企業体 構成員	本事業での役割
美津濃株式会社	総括管理・運営業務
ミズノスポーツサービス株式会社	運営全般業務
コナミスポーツ株式会社	運営補佐 (トレーニングルーム運営)
東海体育指導株式会社	運営補佐(プール運営等)
株式会社オーチャー	維持管理業務

令和3年9月 第3回定例会 決算総括質疑内容 やひろ伸二



予算決算常任委員会において、会派(市民クラブ)を代表し令和2年度の事業に対する執行状況や成果などについて決算総括質疑を行いました。主な質疑の内容は下記の通りです。

1. 安全・安心な街づくり

(1) 新型コロナウイルス感染症の対応

質問

令和2年度は、コロナ対策に終始した一年となったが、感染防止対策や経済対策、ワクチン接種準備などパンデミックとどのように戦ってきたのか？



市長答弁

昨年10月以降、国や県からのワクチン接種情報の収集と健康管理システムの改修などを行い、本年1月12日付けで「感染症対策担当」を設置した。その後、医師会や薬剤師会をはじめとした関係機関と、ワクチン接種の実施に向けた協議などを行い、本年9月8日時点で2回のワクチン接種を終えた方は約44%となり、10月末までに接種を完了する見込みである。また、経済対策では、感染症拡大防止協力金や事業に対して伴走型支援を実施すると共に「プレミアム商品券」「キャッシュバックキャンペーン」の実施による下支えを図った。

市民、事業者の皆様が、一日も早く笑顔で日常生活を取り戻すことができるよう、行政、市民が丸となり、この難局を乗り越えていきたい。

◆◆ 意見・要望 ◆◆

一部の専門家のお話では、ワクチン接種を3回実施するブースター接種も必要なのではないかとの意見も出されている。引き続き、速やかなワクチン接種環境の整備と並行した経済対策をお願いする。



(2) 周産期医療環境の充実

質問

秦野赤十字病院の分娩業務の再開を多くの市民(妊産婦さん)が願っているが、既に休止から6年目を迎えようとしている。さらに令和2年10月には県立足柄上病院と小田原市民病院の基本合意により分娩業務が小田原市民病院に統合される。この状況について、市長はどのように考えているのか？



市長答弁

小田原市民病院への集約は、松田町、山北町などにおいて、交通の便を考慮すると、むしろ秦野赤十字病院での分娩業務の再開を望む声もあると聞いている。

このような近隣の声も追い風にして、今後も秦野赤十字病院での分娩業務の再開の実現に向けて取組んでいきたい。

◆◆ 意見・要望 ◆◆

妊婦の方が安心して出産病院まで行けるよう、行政と公共交通事業者、医療機関とが連携し、認定事業者を指定するような取組みも早期に実施して欲しい。

2. 賑わいのある街づくり

・若者の声を活用した街づくり

質問

昨年度は、「総合計画はだの2030プラン」策定にあたり、初めて若者が参画し、街づくりに対する様々な意見・要望を頂いたが、若者の市政への参加については、その後どのような状況か。また、高校生以上の若者の声をどのように街づくりに活かしたのか？

市長答弁

街づくりに関する若者との連携という視点では、本年7月に学生団体E4による高校生議会の開催を支援した。この9月議会に陳情が提出されているが、若者ならではの柔軟な発想を目の当たりにし、今後の街づくりに大きな可能性を感じた。この機運を逃すことなく、若者の力を市政に反映するためにも、高校生などの若者世代を対象に、二次元コードを活用したアンケートを実施するなどコロナ禍にも対応した形で若者の声に耳を傾け、街づくりに取組んでいきたい。



高校生議会

◆◆ 意見・要望 ◆◆

これまでも、駅周辺に高校生などが集える場所を早期につくり、街づくりに協力できる環境づくりを進めて欲しいと要望してきた。早期の対応をお願いする。

3. 教育水準の改善・向上

・学校における働き方改革の推進

質問

教育水準の改善・向上を図るには、学校における教職員の労働環境の改善が不可欠である。しかしながら、令和2年度はコロナ禍により、新たに消毒作業などの感染対策業務が必要となり、従来の組織体制強化では教職員の労働環境は改善には至っていないと考えるが、教育長はどのように評価しているのか？

教育長答弁

令和2年度の一斉休校の再開直後は、学校での感染症対策が大きな課題となったことから、教育委員会としても教職員の負担軽減のため実態把握に努め、年度当初から市独自のスクールサポートスタッフを配置し効果的な運用を行った。また、年度途中からは県からスクールサポートスタッフの追加配置がなされ、市民



総ぐるみの学校支援を行った。評価ということでは道半ばであることも感じているが、引き続き、教職員の負担軽減について粘り強く取組んでいきたい。